

室原会だより

Vol. **78**

**秋号**

平成26年10月31日

# ふれあい

(題字 室原亥十二)

ドクターズ・ファイル

菊南病院 副院長 赤星隆一郎先生

ワーキング・ウーマン

室原亥十二会長エッセー

生きがい塾一覧

ふれあいア・レ・コ・レ

うりぼう・グループホームきくなん便り

...and more

室原内科・小児科

〒862-0949  
熊本市中央区国府1丁目11番9号  
Tel 096-364-3080 Fax 096-366-4668

菊南病院

〒861-5517  
熊本市北区鶴羽田3丁目1番53号  
Tel 096-344-1711 Fax 096-344-1726

水前寺高齢者複合施設

〒862-0949  
熊本市中央区国府1丁目3番15号  
Tel 096-364-1210 Fax 096-364-1221

グループホームきくなん

〒861-5517  
熊本市北区鶴羽田3丁目11番15号  
Tel 096-345-2260 Fax 096-345-2261

菊南病院副院長 循環器科

# 赤星 隆一郎



医師となつて今年で45年になります。医師として仕事をしていく上で大きな影響を受けた出来事や人物があります。学生時代、基礎医学、中でも病理学的重要性と興味深さを痛感しました。昭和44年熊大医学部第3内科教室に入局しました。当時ドイツから帰国したばかりの波多野淑弘先生が講師として着任されました。聴診器一本で先天性心疾患や弁膜症をたちどころに診断したり、詳細な診察と心電図の深い読みによって多くの臨床的な情報を明らかにされるのを目の当たりにして循環器をやることにしました。国立西埼玉中央病院では波多野先生の下で、早朝から深夜まで私生活のない厳しいトレーニングを受けましたが、充実した楽しい毎日でした。臨床医としての基礎、特に患者さんの全身を診察する事の重要性を学びました。波多野先生の紹介で先生の恩師ホルダック教授に面会し、実技試験と口頭試問を受け西ベルリン州の奨学生となりました。この方は心音図の領域では世界的に有名な方で、この教授の下で聴診を徹底的に教わり、心音図、心機図の研究を行いました。3か月経ったところ同教授が西ドイツ本国の病院の院長として転任され、この時同病院に医師として正式に採用されました。この病院に在籍中に同系統の病院のCCUに6か月主任として出向しました。当直の日、急患（多くは心筋梗塞）がひっきりなしに搬送され夜寝ることはまず不可能でした。最も多かった日には一晩で14人の急性心筋梗塞患者が搬送されてきました。過酷な勤務でしたが心筋梗塞、心不全等多くの救急患者を経験する事が出来ました。2年が経過した時、学生時代からの希望を実現すべくホルダック教授に循環器科を中心に

臨床病理をやりたいとの希望を表明しました。有り難いことに、具体的な希望を詳しく訊ねられ、その場で私の希望に合いそうな病理の教授に電話をして下さいました。数日後、Nordrhein-Westfalen 大学医学部病理学部のSchoenacker 教授に面会し、助手として採用され西ドイツ政府の特別研究班の一員として冠循環（心臓を養う血管系）の研究に従事することになりました。当時この教室では約20人の医師が居て1年間に約800例の病理解剖が行われていました。私が循環器科の医師ということで心疾患患者の解剖を主にやらせて頂き、2年間で160体の解剖を行いました。解剖は原則として午前中に行います。昼休みに主治医（臨床医）に肉眼的な解剖結果を説明し摘出した臓器を提示します。翌朝、組織検査（顕微鏡検査）のために摘出臓器の一部の小片を切り出し検査技師に顕微鏡標本を複製してもらい、通常の標本は2・3日で出来たので顕微鏡で観察して診断し、最終的な報告書を一週間以内で作成する決まりでした。毎週一回循環器内科、心臓血管外科と病理の合同の症例検討会が行われ手術標本（心臓外科の手術は毎週20例ほど行われていた）や解剖の病理学的検査結果を報告しました。この検討会は最新の情報が得られ、異なる立場の医師と意見の交換が出来て非常に貴重な経験でした。毎週土曜日は一日図書館に籠り文献を探し、本を読んで過ごしました。自分の興味のある事を十分に勉強できる幸せな時間でした。この大学はドイツ有数の工科大学が主体で教室にも多くのエンジニアがおり理学部、工学部と共同で様々な研究が行われていました。私は理学部の研究者と共同で冠循環の循環模型（simulator）を試作し、狭窄時の血行動態を研究しました。1年後には何とか学会発表も行いました。この2年間は非常に多忙でしたが、言葉や習慣にも慣れ仕事も研究もはかどり学会や研究会で発表することも出来て充実した生活を送ることが出来ました。ドイツから帰国後は国立埼玉病院の循環器科に呼んで頂きました。心臓外科は毎週手術を行っており、心疾患の総合的なセンターを立ち上げる計画が進行中でした。日常の救急診療体制の構築と地域でのPRが必要で院内スタッフの教育と地域社会での定期的な講演会・研究会を行い、心疾患患者を紹介して頂ける様に努力しました。心臓外科の手術に助手として参加したり、緊急の心臓手術時には麻酔やIABP（補助冠循環装置）や人工心臓を操作したりと、仕事は興味深く楽しいものでした。しかし何分にも多忙で睡眠時間が極端に少なく、4年間の勤務中疲労のために2回倒れ一週間の入院が必要でした。この様な過酷な勤務は長期的に見て無理と判断し退職を決意しました。その頃、再春荘病院から勧誘があり、結核療養所から一般診療への転換の必要が

あり、神経内科、整形外科、小児科等と共に循環器科を創設し救急医療と総合的な診療能力の強化を計画しているとのことでした。何もない状態からの出発で、職員の意識改革が必要でした。徐々に医療機器や設備も揃い、職員の教育と周囲へのPRを行い数年たった頃から徐々に地域の医療機関から患者様を紹介して頂ける様になりました。再春荘病院は呼吸器の患者が多く、呼吸器の生理と病理を勉強し診療を通じて新たな発見が多くありました。運動やスポーツ医学には以前から興味を持っていましたので、日本医師会、日本体育協会の講習を受けスポーツ医学を一から勉強しました。スポーツ医学は奥が深くたちまちのめり込んでしまいました。日本医師会の健康スポーツ医、日本協会のスポーツドクターの認定を受けました。熊本県体育協会の医科学専門医に任命され国体選手のメデイカルチェックを行い、熊本県医師会のスポーツ医会運営委員を委嘱されスポーツドクターの派遣、研修の企画や運営に携わっています。運動やスポーツを通じた生活習慣病の予防と治療が私の生涯のメインテーマのひとつです。県医師会の学童検診専門委員、市医師会の健診協力医として健診事業に参加して、若いスポーツ選手や学童の急性心臓死をいかに予知し予防するかという大きなテーマにも取り組んでいます。

今年で菊南病院の勤務も7年目を迎えました。スポーツを通じて如何に元気に過ごせるかを、身を以て証明したいと運動に励んでいます。また医学の進歩は想像以上に早く、置いていかれないように毎日の勉強、学会や講演会研究会等への参加も必要です。テーマを決めて勉強すると毎日新たな発見があります。診察や健診時には禁煙、食事そして運動を、どんなに嫌われろさらされてもお勧めしますが、これは長年の臨床経験から得られた信念です。

## 資格等

略歴：  
昭和36年熊本高校卒業、  
昭和42年九州大学医学部卒業。  
勤務歴：  
昭和48年国立西埼玉中央病院循環器科（3年）  
昭和50年西ドイツ留学（4年）  
昭和54年国立埼玉病院循環器科（4年）  
昭和58年国立再春荘病院循環器科（30年）  
平成19年より現職

日本循環器学会認定専門医  
日本内科学会認定医  
日本体育協会認定スポーツドクター  
日本医師会認定健康スポーツ医  
熊本県体育協会医科学専門委員  
熊本県医師会スポーツ医会運営委員  
熊本県医師会心臓検診専門委員  
熊本市医師会学校心臓検診協力医  
日本糖尿病協会認定指導医  
所属学会：日本循環器学会、日本内科学会



これまでの人生で何度も辛い思いや危機的な状況を経験したことがあります。解決するためには、冷静に状況を分析、判断して対策を講じなければなりません。しかし困難に直面すると気分は落ち込み、弱気になり、マイナス面だけに意識が行ってしまい冷静な判断が出来ません。この様な時に必要なのが気分転換です。最適な方法が運動です。私はランニングをしました。1時間程なるべくスピードを上げて集中して走り、他の事を考えないようにします。その前後にたっぷりストレッチをすると効果は絶大です。医者になったばかりの頃、様々の問題があり将来への展望が開けず絶望的な気持ちになり何をする気も無い状態が数ヶ月続き、このままでは危ないと思いました。思い切って早起きランニングを始めました。最初は眠くてだるくて何度も止めてしまおうか思いましたが、我慢して続けている内に走るのが楽しく、生活のリズムも早寝早起きに整ってきたのです。何よりも気持ちが落ち着き、今何をやるべきかを考えられるようになりました。2年ほどで何とか困難な状況から脱出することが出来ました。ドイツに留学した最初の1年は言葉で、その後の3年は考え方や習慣で苦労しました。特に最初の半年は臨床医として働く上で、自分の言いたいことが言えず伝わらず、誤解されたり正當に評価されなかったりとストレスだらけの毎日でした。悔しくて夜目が覚め、そのまま眠れず翌朝はボーッと出勤するという悪循環

でした。ただ、ドイツは自然に恵まれ散歩やランニングには快適な環境で、地域のスポーツクラブも充実しており町中のプールで泳いだり、町のホッケーチームで練習や試合に参加して気分転換を図りました。ドイツではWanderung(さ迷い歩く)も人気があります。森林、湖沼或いは湿地帯を歩き回るのがコースは整備され、宿泊設備も清潔で安価で私もよく出かけました。体を動かすことは身体はもとより、精神的な健康に非常に有益です。困ったり、気が滅入った時には先ず体を動かすことをお勧めします。



後半の2年を過ごしたAachenの近郊の小さな町Monschau。中世の街並が保存され、溪流が流れ週末に一泊してWanderungを楽しんだ。

## ドクター古庄のサイクリング紀行

菊南病院 副院長  
古庄 伸行

### 19. 自転車で紅葉狩り

秋はサイクリングの季節です。気温も最適ですし、春に比べると空気も澄んでいます。食べ物も美味しいですが、紅葉も見物のひとつですね。一般に「紅葉狩り」と言えば、山奥というイメージですが、熊本市内でも紅葉の名所がいくつかあります。

島崎にある叢桂园、釣耕園、三賢堂には多くの紅葉樹が植えてあり、池の水面に映る紅葉も楽しむことができます。少し離れた花園にある成道寺は夏目漱石の句碑があることでも有名ですが、紅葉も素晴らしいです。アクセスの道が細いので車の離合は大変ですが、自転車なら問題なく進めます。

熊本市の北部なら、国道3号線沿いの植木インターの少し手前の味取(みとり)にある、味取観音堂は種田山頭火がかつて堂守をしたことでも有名です。また、その味取から国道3号線沿いに北区役所まで戻り、左折して道なりに進むと高速道路の手前の小野泉水公園へ行きます。小野小町が

産湯を使ったと言われるこの湧水の公園でも紅葉を楽しむことができます。

あなたもお近くの熊本市内の紅葉の名所、自転車で廻ってみませんか？



味取観音堂の紅葉と山頭火の石像

一般病棟個室のリフォーム完了



平成26年一般病棟個室4室（6月23日～26日に505号・506号室、7月14日～22日に特A・特B室）のリフォームを行いました。

壁や床はもちろん、家具に至るまで雰囲気が一変し、生まれ変わりました。

ご利用者様の入院生活が過ごしやすくなるものになりますよう、心機一転励んで参りたいと思います。



第30回 火の国レガッタ (in 江津湖ポート場)

7月21日(月) 海の日江津湖ポート場にて「火の国レガッタ」が開催されました。室原会より精鋭の4クルー(レガッタではチームをクルーと呼びます)出場しました。この大会には毎年参加しており、毎年入賞しています!今年は女子チームが決勝まで勝ち上がり、接戦の末に惜しくも優勝を逃しましたが、見事に準優勝に輝きました☆出場していない職員も応援に来てくれました。職員一丸となり、大変盛り上がり良い夏の思い出となりました。



『自宅退院困難者が家で生活する方法を皆で考えよう』の会



この会は、訪問看護ステーション(たっくりハサポートセンター)の訪問看護師である河添こず恵さんと室原良治理事長の呼びかけによりスタートしました。さまざまな理由から在宅生活が困難となり長期療養を余儀なくされている患者様について、病院内の各部署をはじめ、外部から訪問看護師の方に来ていただき、意見を交換しながら在宅生活ができる方法を導き出していくことを目的に行っています。今回で第5回目、実際に在宅へ退院できたケースもあり大変有意義な会となっています。

今後は、訪問看護との「顔の見える関係」をさらに深め、地域ネットワークを広げていくとともに、病院全体でも在宅復帰に向けて積極的に取り組んでいけるよう、スタッフ一人一人の意識の向上、そしてスキルアップに努めてまいりたいと思います。



菊南病院 行事食献立

H26.7.7 七夕

- ・お寿司(七夕稲荷、四海巻き)
- ・鮎の塩焼き  
(鮎、レモン、レンコンの甘酢、青梅蜜煮)
- ・茄子の網笠揚げ
- ・牛肉の有馬煮
- ・清汁(そうめん、生麩)
- ・フルーツ白玉ポンチ



H26.9.15 敬老の日

- ・栗入り赤飯
- ・盛り合わせ  
豚の生姜焼き  
揚げ物3種  
海老のみじん粉揚げ  
アスパラのピーナツ揚げ  
椎茸のすり身天ぷら  
タコの柔らか煮  
わかさぎの佃煮  
串刺し(里芋、银杏、じゅんさい) カマボコ  
栗の渋皮煮
- ・黄味酢かけ(イカ、刺身コンニャク、胡瓜、生麩)
- ・あえもの(オクラ、長いも、じゅんさい)・潮汁(鯛、干し菊、三つ葉)
- ・祝い饅頭



左から2番目 松田知恵美看護師

## ～働く女性へ Q&A～



菊南病院一般病棟  
慢性心不全看護認定看護師

松田 知恵美

### Q 看護師を目指したきっかけは？

**A** 私の母と姉が看護師で、進路に迷っていた高校生の時に看護師の仕事が勧められたことがきっかけでした。正直、看護学生時代～免許を取ってすぐの頃は看護の良さ、面白さを実感できず、看護師をやめたこともあります。退職しても患者様に慕われている母の姿、そして私の看護師としての再出発の場所となったこの菊南病院で患者様やご家族に慕われ、ご指導いただいた先輩方の背中をみて、私もこんな看護師になりたいと思った事が看護師を目指したきっかけ…というよりも看護師を続けていくことができているきっかけです。

### Q 慢性心不全看護認定看護師を目指したきっかけは？

**A** 『心不全』という病名でご入院され、薬の治療により病気が改善しても、またすぐに心不全が悪くなりご入院される患者様がおられ、どうすれば患者様が自宅で自分の生活を楽しみながら生活できるのだろうか…という日々の疑問がありました。また、つらい症状に苦しめる患者様に対し、医師の到着までに何も出来ず、苦しんでいる患者様を前にただ見ていることしか出来なかったことがあり、看護の力で出来ることはないのだろうか?と考えたことがきっかけでした。

### Q やりがいを感じていることは？

**A** 慢性心不全看護認定看護師として初めて指導させていただいた患者様に、「今日の体重〇〇キ!」(慢性心不全は自宅での日々の体重測定が重要ですので)「入院する前より体が楽です」など、退院後の外来受

診の際に声を掛けていただいたときは、この資格を取得してよかったなと心からやりがいを感じました。

### Q 今後やってみたいことは？

**A** 患者様や菊南病院で一緒に働くスタッフの皆様へ『慢性心不全看護認定看護師』の仕事について知っていただけるよう、これまで以上に多くの方々とのコミュニケーションをとっていくことが出来るように活動していきたいです。また、当院に勤務されるスペシャリストな先生方にも、病気について伝授していただき、少しでも的確な診療のサポートが出来るように努力したいです。プライベートでは(聞いてない?)お料理教室に通って、美味しいご飯を作れるようになることと、コケてばかりで全く上達出来ないスノーボードをこの冬は頑張りたいです。

### Q 「こだわり」

**A** 私のこだわり、これは、地元阿蘇で建築士として働く父の理念と松田家家訓5箇条に基づいています。「住む人の身になって」という理念を持ちながら働く父は、私の職業人としての憧れの存在でもあります。松田家家訓5箇条とは「素直な心・反省の心・謙虚な心・奉仕の心・感謝の心」という5つの心です。有名な言葉ですが、私の小さいころから父と母がこだわってきた言葉です。『患者様の身になって』という看護理念を常に自分の胸に持ちながら、これからも生まれてきたこと、生きていること、出会えたこと、働くことが出来ていること…誰かや何かに感謝する気持ちを忘れないということが私のこだわりです。

## 新入職員紹介 H26.7.1～

土井谷	ユカ	一般病棟 看護師
上村	都志江	一病棟 看護師
河野	裕美	一般病棟 看護師
山本	美保子	一般病棟 看護師

杉水	実	三病棟 看護師
上山	秀美	二病棟 看護師
松永	麻美	一病棟 看護師

小森	嗣子	デイケア 准看護師
岡	美里	地域包括 ささえりあ北部
浦本	いづみ	水前寺有料老人 ホーム・准看護師
高守	尚子	鈴の音・准看護師

よろしくお願ひします

# 生きがい塾

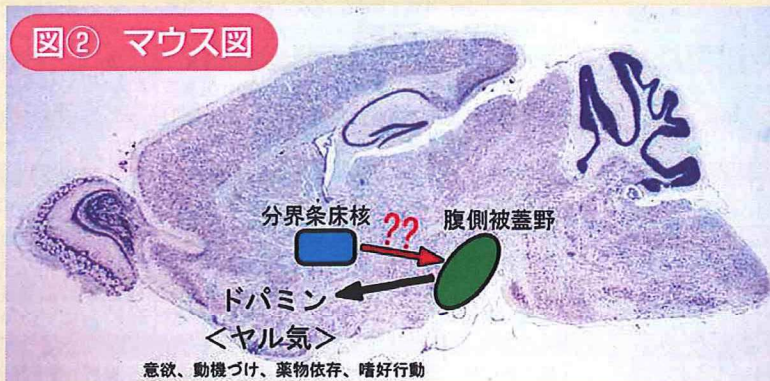
## 生きがい塾について

室原内科で現在続いている生きがい塾も既に通算135回続いていますので、一覧表をまとめてみました。何かの参考になればと思います。また地域の皆さんに大変講評を得ていますので続行します。

回	開催日	演 題	講 師
第1回	H16. 4. 6	介護保険制度 ～介護保険制度の概要及び制度施行後の状況について～	熊本県健康福祉部介護保険課 参事 岩本啓二
第2回	H16. 4.13	医療保険制度について	熊本市国民健康保険課 給付係長 塩澤年行/老人医療係長 澤田宏明
第3回	H16. 4.20	映画「びょういんの木」	
第4回	H16. 4.27	高齢者のための社会保険制度と年金制度の概要	正岡社会保険労務士事務所 所長 正岡征
第5回	H16. 5.11	高齢者保健福祉サービス	熊本市高齢保健福祉課 課長補佐 牛山雄二
第6回	H16. 5.18	介護保険ワンポイント講座	熊本市介護保険課 主事 山内一生
第7回	H16. 5.25	外国と日本の福祉の比較	熊本大学医学部保健学科看護専攻教授 藤井輝明 先生
第8回	H16. 6. 8	最近多い結腸癌について	菊南病院 副院長 加古博文 先生
第9回	H16.06.15	介護施設サービスの紹介	菊南病院 事務長 成松則子
第10回	H16. 6.22	フラダンス	武田慶子
第11回	H16. 6.29	熊本市在宅介護支援センターの紹介	菊南病院 社会福祉士 加世田まゆ
第12回	H16. 7. 6	善玉・悪玉コレステロールについて	玉名公立中央病院 副院長 福島英夫 先生
第13回	H16. 7.13	介護保険の居宅サービスについて	菊南病院 ケアマネージャー 松尾福代
第14回	H16. 7.20	体を動かそう!	菊南病院 健康管理部 今村洋美
第15回	H16. 7.27	生きがいと社会参加対策	新評社代表 吉原 亀久雄
第16回	H16. 8. 4	脳出血と梗塞について	元熊本大助教授 現大牟田天徳病院所長 梅田照久先生
第17回	H16. 8.10	居宅介護の実際	菊南病院 ホームヘルパー 山川梅香
第18回	H16. 8.17	なんとなくくひねた顔	室原内科・小児科 院長 室原亥十二 先生
第19回	H16. 8.24	福祉よもやまばなし	熊本大学医学部保健学科看護専攻教授 藤井輝明 先生
第20回	H16. 9.14	用具などを使った介護実習	菊南病院リハビリテーション部次長 北里堅二 理学療法士
第21回	H16. 9.21	おもいきりテレビの うそ?ホント?	菊南病院 院長 室原良治 先生
第22回	H16. 9.28	医療相談と訪問看護の立場から	菊南病院 訪問看護MSW 山本ひとみ/橋本香織
第23回	H16.10. 5	漢方薬の話	菊南病院 診療部長 松村浩明先生
第24回	H16.10.12	バランスよく食べよう!	菊南病院 栄養部長 森田智子先生
第25回	H16.10.27	頭痛	熊本大学名誉教授 荒木淑郎 先生
第26回	H16.11. 2	トイレは笑う	室原内科・小児科 院長 室原亥十二 先生
第27回	H16.11. 9	不眠	国立熊本病院 元副院長 村山英一 先生
第28回	H16.11.16	映画「ホームスイートホーム」～誰にでも帰りたい家がある～	
第29回	H16.11.30	病院での介護	菊南病院 看護部長 大森千賀子
第30回	H16.12.15	カゼとインフルエンザ	熊本呼吸器内科 藤井一彦 先生
第31回	H16.12.21	映画「助太刀屋 助六」	
第32回	H17. 1.11	心臓病あれこれ	菊南病院 院長 室原良治 先生
第33回	H17. 2. 8	元気な高齢者に忍び寄る嚙下障害 ～むせない誤嚥をご存知ですか?～	菊南病院 言語聴覚科課長 大塚裕一 先生
第34回	H17. 3. 8	漱石・荷風・井上靖・太宰治の女性観	室原内科・小児科 院長 室原亥十二 先生
第35回	H17. 4.12	今後の医療・福祉・介護の展望について	富田薬品株式会社 取締役 竹本俊則
第36回	H17. 5.10	生活習慣病とお笑い	室原内科・小児科 院長 室原亥十二 先生
第37回	H17. 6.14	介護保険の明と暗	菊南病院 院長 室原良治 先生
第38回	H17. 7.12	古典落語	熊本市役所 主事 美濃口雅朗 新市街郵便局 局長 古荘重流
第39回	H17. 8. 9	老いじたく ～心身が弱ってからでは遅い!～	室原内科・小児科 院長 室原亥十二 先生
第40回	H17. 9.13	ガンについて	熊本大学附属病院 助教授 猪山賢一 先生
第41回	H17.10.11	加齢と腰痛	菊南病院 前田芳郎 先生
第42回	H17.11. 8	医療ビデオ:①患者さんの声を聞く/②見えてきた新しい針路③診療時間を考える	出演:日野原重明 先生 他
第43回	H17.12.13	顔の穴と心	室原内科・小児科 院長 室原亥十二 先生
第44回	H18. 1.10	インフルエンザはなぜ怖い?	中外製薬株式会社 メディカルアドバイザー 吉本梨恵
第45回	H18. 2.14	高脂血症	万有製薬株式会社 メディカルプレゼンタティブ 徳山洋子
第46回	H18. 3.14	老人性うつ	菊南病院 吉村文長 先生
第47回	H18. 4.11	環境病としての花粉症について	塩野義製薬株式会社 医薬担当者 野田明代
第48回	H18. 5. 9	腹囲測定(内臓脂肪)で生活習慣病が防げる!!	室原内科・小児科 院長 室原亥十二 先生
第49回	H18. 6.13	実物実演 小鳥のさえずり	小鳥愛好家 石坂寛海
第50回	H18. 7.11	漢方について	株式会社ツムラ 主査 松田靖彦
第51回	H18. 8. 8	ドライマウスについて	菊南病院 診療部長 中島雅文 先生
第52回	H18. 9.12	脳血管障害について	守屋医院 院長 守屋信英 先生
第53回	H18.10.10	八雲夫人「節子」・漱石夫人「鏡子」のお話	室原内科・小児科 院長 室原亥十二 先生
第54回	H18.11.14	転倒と骨折の予防	菊南病院 リハビリテーション部係長 入江泰子 理学療法士
第55回	H18.12.12	骨について	旭化成ファーマ株式会社 浅原健太
第56回	H19. 1. 9	古典落語	熊本市役所 主事 美濃口雅朗 新市街郵便局 局長 古荘重流
第57回	H19. 2.13	発癌性物質について	大鵬薬品工業株式会社 学術担当 釜塚嘉裕
第58回	H19. 3.13	早目に認知症に気付くポイント	エーザイ株式会社 学術担当 恵陽子
第59回	H19. 4.10	介護保険制度と地域包括支援センターの役割について	熊本市北5 地域包括支援センター「北斗」 加世田まゆ
第60回	H19. 5. 8	パーキンソン病症候群	中外製薬株式会社 メディカルアドバイザー 吉本梨恵
第61回	H19. 6.12	湿布について	久光製薬株式会社 学術担当 岩本修
第62回	H19. 7.10	正しい服薬の仕方	ファミリー調剤薬局 薬剤師 上岡利子 先生
第63回	H19.9.11	①生と死 ～赤ちゃんポスト～	室原内科・小児科 院長 室原亥十二 先生
第64回	H19.11.13	②生と死 ～彷徨える介護制度～	室原内科・小児科 院長 室原亥十二 先生
第65回	H19.12.11	物忘れ	エーザイ株式会社 学術担当 恵陽子/高山成弘
第66回	H20. 1.15	古典落語	熊本市役所 主事 美濃口雅朗 新市街郵便局 局長 古荘重流
第67回	H20. 2.12	便秘(便通)	室原内科・小児科 院長 室原亥十二 先生
第68回	H20. 3.11	花粉症について	田辺製薬株式会社 秋枝智子

回	開催日	演 題	講 師
第69回	H20. 4. 8	平成20年度から始まる特定健康診査に関連して	菊南病院 健康管理部課長 中嶋朋子 室原内科・小児科 脇坂陸美
第70回	H20. 5.20	高齢者に多い貧血等について	室原内科・小児科 院長 室原亥十二 先生
第71回	H20. 6.10	体脂肪はどこにあるか?～体の組成について～	室原内科・小児科 院長 室原亥十二 先生
第72回	H20. 7. 8	ビデオ「再生医療の紹介」	出演：名古屋大学循環器教授 室原豊明 先生
第73回	H20. 9. 9	新型インフルエンザについて	(財)化血研ワクチン推進課 松元太
第74回	H20.10.14	胃カメラの歴史	室原内科・小児科 院長 室原亥十二 先生
第75回	H20.11.11	パーキンソン病様症状について	室原内科・小児科 院長 室原亥十二 先生
第76回	H20.12. 9	小鳥の羽色(はいろ)	小鳥愛好家 石坂寛海
第77回	H21. 1.13	古典落語	熊本市役所 主事 美濃口雅朗 新市街郵便局 局長 古荘重流
第78回	H21. 2.10	奈良・平安時代の疫病について	室原内科・小児科 院長 室原亥十二 先生
第79回	H21. 3.17	ハーモニカとギターによせて	院長友人：緒方秀逸/佐川敏明
第80回	H21. 4.14	狭心症と心筋梗塞	菊南病院 赤星隆一郎 先生
第81回	H21. 5.12	鎖国とジャガタラお春/開国とデヴィ・スカルノ夫人	室原内科・小児科 院長 室原亥十二 先生
第82回	H21. 6. 9	一般細菌とウィルスの違い	室原内科・小児科 院長 室原亥十二 先生
第83回	H21. 7.14	水前寺高齢者複合施設のご招待	水前寺高齢者複合施設 吉田亜紀子
第84回	H21. 9. 8	膝関節痛について	菊南病院 前田芳郎 先生
第85回	H21.10.13	死亡疾患の順位	室原内科・小児科 院長 室原亥十二 先生
第86回	H21.11.17	動物の寿命(湿布の仕方の説明)	久光製薬株式会社(サロンパス) MR 高木祐子
第87回	H21.12. 8	転倒予防テストを受けましょう	菊南病院 健康管理部課長 中嶋朋子/今村洋美
第88回	H22. 1.12	古典落語	熊本市役所 主事 美濃口雅朗 新市街郵便局 局長 古荘重流
第89回	H22. 2. 9	検査項目のご案内	株式会社エスアールエル 担当営業 今村美公
第90回	H22. 3. 9	世界の葬儀 ～世界には意外な葬儀があります～	室原内科・小児科 院長 室原亥十二 先生
第91回	H22. 4.13	死に様(よう)人間には様々の死に方があります。さて、自分ほどの様にして死を迎えるでしょうか?	室原内科・小児科 院長 室原亥十二 先生
第92回	H22. 5.11	肥後狂句	肥後狂句連盟会長(前熊本市医師会会長) 豊田大徳
第93回	H22. 6. 8	物忘れテスト	室原内科・小児科 院長 室原亥十二 先生
第94回	H22.10.19	不老長寿は得か?	室原内科・小児科 院長 室原亥十二 先生
第95回	H22.11. 9	地球温暖化について	熊本地方気象台 技術課 気象情報官 大守貴之
第96回	H22.12.14	忘年会	生きがい塾
第97回	H23. 1.11	古典落語	熊本市役所 主事 美濃口雅朗 新市街郵便局 局長 古荘重流
第98回	H23. 2. 8	老化も楽し	室原内科・小児科 院長 室原亥十二 先生
第99回	H23. 3. 8	熊本県の医療・介護の現状 癌～生と死～	藤川医院理事長 藤川たかお 先生(熊本県議会議員) DVD 立花隆
第100回	H23. 4.12	生きがい塾第100回 記念公演 「病気はこうやって見付かる」	菊南病院 院長 室原良治 先生
第101回	H23. 5.10	国家と税金	公認会計士 石見敏行 先生
第102回	H23. 6.14	尊厳死	室原内科・小児科 院長 室原亥十二 先生
第103回	H23. 7.12	熊本地域の地震・津波について	熊本地方気象台技術課 技術専門官 佐々木康夫
第104回	H23. 9.13	癌の予防	室原内科・小児科 院長 室原亥十二 先生
第105回	H23.10.11	頭部CT検査について	菊南病院 放射線技師 瀧本恵那 先生
第106回	H23.11. 8	椅子に座ったままでできる体操	菊南病院健康運動実践指導者 今村洋美 リハビリテーション部 四方田優子 作業療法士
第107回	H23.12.13	物忘れについて(認知症と健康人の違い)	熊本市市民病院 精神科医長 下原宣彦 先生
第108回	H24. 1.10	古典落語 究蔵「粗忽長屋」/頭柳「湯屋番」	熊本市役所 主事 美濃口雅朗 新市街郵便局 局長 古荘重流
第109回	H24. 2.14	原子力のお話	尚綱高校 物理 石原功次 先生
第110回	H24. 3.13	お花のお話	小原流師範 佐藤智子 先生
第111回	H24. 4.10	思い出の歌(童謡・唱歌)をみんなで歌いましょう	元中学校音楽教師・出水校区民生委員会 小佐井浩子 先生
第112回	H24. 5. 8	ご存知ですか?!ジェネリック(後発品)	ファミリー調剤薬局 薬剤師 田中幸子 先生
第113回	H24. 6.12	熊本市医師会活動等について	元熊本市医師会副会長 河津昌幸 先生
第114回	H24. 7.10	高齢者と歯 ～歯が良ければ元気に過ごせる～	熊本市歯科医師会 学術委員会理事 小野歯科医院 小野秀樹 先生
第115回	H24. 9.11	宗教について	法雲寺 水前寺 遠山堅雄 師
第116回	H24.10. 9	これからの高齢者へのサービスはどうなるか	株式会社アステム コンサルティング室課長 吉田啓
第117回	H24.11.13	地域医療支援病院における看護の役割 ～看護師に必要な基本姿勢と態度～	菊南病院 看護部長 大森千賀子
第118回	H24.12.11	物忘れリハビリ(第2回)	室原内科・小児科 院長 室原亥十二 先生
第119回	H25. 1.15	古典落語 究蔵「粗忽長屋」/頭柳「御神酒徳利」	熊本市役所 主事 美濃口雅朗 新市街郵便局 局長 古荘重流
第120回	H25. 2.19	愛と憎しみ	日本キリスト教団熊本城東教会 中村英之 主任牧師
第121回	H25. 3.12	孤独死の背景	本庄内科病院 院長 本庄弘次 先生
第122回	H25. 4. 9	国民皆保険制度が危うい	熊本県医師会保険担当理事 飯屋元博 先生
第123回	H25. 5.14	卒寿(90年を振り返る)	室原内科・小児科 院長 室原亥十二 先生
第124回	H25. 6.11	卒寿(90年を振り返る)～続き～ 蜂の巣城の攻防(ビデオ)	室原内科・小児科 院長 室原亥十二 先生
第125回	H25. 7. 9	認知症予防のためになるやさしい宇宙の話	熊本博物館 学芸員 原秀夫 先生
第126回	H25. 9.10	高齢者が被害者にならないための心がけ	熊本東警察署 生活安全課
第127回	H25.10. 8	寿命の男女差	室原内科・小児科 院長 室原亥十二 先生
第128回	H25.11.12	物忘れテスト(2回目) 30問出題	室原内科・小児科 院長 室原亥十二 先生
第129回	H26. 1.14	新春お笑い	熊本市役所 主事 美濃口雅朗 新市街郵便局 局長 古荘重流
第130回	H26. 2. 4	嫁・姑の話	室原内科・小児科 院長 室原亥十二 先生
第131回	H26. 3.11	3月・4月の鉢植えの花	平田ナーセリー
第132回	H26. 4. 8	高齢者在宅医療介護について	熊本市役所 高齢介護福祉課 主査 松下修二郎
第133回	H26. 5.13	熊本の地震・台風について	熊本地方気象台 津波・地震防災官 井口元治
第134回	H26. 6.10	熊本市の梅雨期の水害について	熊本市危機管理防災総室 前田俊博
第135回	H26. 7. 8	災害時の緊急避難通報について	熊本中央消防署
第136回	H26. 9. 9	2030年高齢者問題	

図② マウス図



(北大医学研究科工藤健大他2012年)

- ・分界条床核から中脳腹側被蓋野への神経投射の90%は、抑制性伝達物質の GABA を用いる抑制性投射であった。
- ・分界条床核からの抑制性投射は、腹側被蓋野の抑制性介在ニューロンを標的としていた。
- ・従って、この介在ニューロンによる抑制の解除(脱抑制)を介して、分界条床核は腹側被蓋野からのドパミン放出を促進する。

ところで、ワタクシは昨年平成25年9月に頭部の CT 検査を受け、結果はやはりと言うべきか左前頭葉深部皮質、左葉被殻部に OCI が散見された。即ち正常ではない。記憶の中枢も司令部も加齢と共に正常ではなくなっていることが分かった。然し同年齢の高齢者と比較すると仕事に対する意欲は以前と変わりなく維持している様に思う。

(診療以外への知識、仕事、経営等々も)

中核症状には記憶障害は確かに最初に挙げられているが、意思、意欲の障害については何らの説明がない様に思う。ワタクシが思いますに記憶と意欲のニューロンは、その回路はどこでどうコミュニケーションをとりあっているか。ワタクシには分からない。

要するにワタクシの知りたいのは記憶障害のマイナスのエネルギーと、やる気のプラスのエネルギーは脳内回路のどこでせめぎあっているか、ワタクシより一回り年長のあの高名な日野原重明先生にお伺いしたい。こんな気持ちになるのは妄想が出始めたかな。

長々と述べましたが意欲があるうちは生きていくという感慨です。意欲をなくし、認知症の

状態となれば生かされているということです。ワタクシも突然の病気また事故で命を落とさないうで年を重ねれば、その中にやる気・体力共に低下して認知症へ、その先に待ち構えている死へのカウントダウンが始まっていることは間違いないが、

まだ生きたい。

注

1. エピジェネティクスという古くて新しい研究がまた最近なされています。これはヒトゲノム情報だけでは不十分であることが分かってきた。ゲノムとは次元の違う問題である。同じゲノムであっても個体レベルの形質表現型が長い環境によっては異なることが分かってきた。
2. 脳のニューロンは1000億、そのシナプスは100兆と言われている。天文学的数字で正に脳内宇宙です。

次々と新しい分野に研究は進む。意欲の問題もそのうち解明されるでしょう。

この原稿の後で、今年の医学・生理学部門で(海馬)の研究で3名がノーベル賞を受賞しました。



# 年には勝てぬ

会長 室原 亥十二

と世間に言われているように、高齢者にとって最大の敵は年です。ワタクシは確実に MCI (Mild Cognitive Impairment) (軽度な認識障害) のプロセスをたどっています。91歳、敵は目前に迫っています。絶対回避できない。認知症ではありません。然しその入り口といったらよいでしょうか。認知症に関しては中核症状と辺縁症状が区分されていますが、この中核症状の中で最も早くまた確実に自覚され、心配になるのが物忘れです。判断力・直観力等の低下より先行して自覚されます。ワタクシの場合、EBM (研究者による実証治療) には欠けていますが、長年 NBM (町医者 of 経験治療) で診療をやってきました。経験から申しますと、物忘れで日常困るのは今朝診た新患の名前が夕方出ない。短期記憶の忘れです。また、日時はカレンダーを見ないと不安になる。段取りの間違いや失行は少々あります。加齢に伴い身体の障害は当然

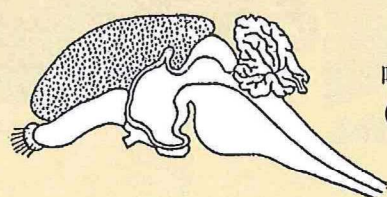
生じ性格にも影響する (注1)。然し、多少の齟齬があっても日常の業務 (ワタクシの場合は診療) はこなしている。この状態を MCI かと自己判断している。

記憶には短期記憶と長期記憶がある。前者は ① 大脳辺縁系の海馬、扁桃核、また側坐核等の古い皮質にあり〈情動〉として行動に表される。後者は新しく発達した中枢神経系の90%を占める人の大脳皮質に高次機能が局在する前頭連合野に保存される (注2・図①)。この前頭前野に高次の脳機能司令塔がありここにヒトの高度な意思、意欲、ヤル気 (will, mind) の司令を発信していると思われる。

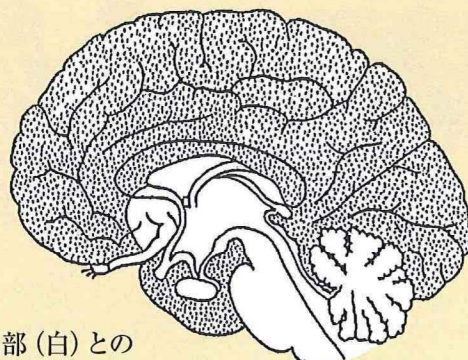
ヤル気については最近ヒトでなくマウスについてのドパミンと GABA の研究がある (図②)。

大脳辺縁系の〈情動〉とは違った神経回路をとっている。

図① ウサギとヒトの比較



哺乳類  
(ウサギ)



ヒト

各種脊椎動物における終脳外套 (点) と他の脳部 (白) との比較. 正中断 (Edingerによる).

# うりぼう



～ 施設の楽しい行事を紹介します。～

水前寺高齢者複合施設  
小規模多機能 いとし  
グループホーム 鈴の音  
水前寺有料老人ホーム

## 夏祭り

今年も、盛大に開催しました！踊りに、ゲーム、なかなか割れないスイカに大変盛り上がりました！



## 敬老会

ノンアルコールビールで乾杯！  
職員によるおもてやんサンバもあり、おいに盛り上がりました。



## 出水フェスタ

地域のイベントに参加し、踊りやフラダンスを鑑賞しました。



## 各階の活動



### 【施設内研修】

7月22日：食中毒予防について（講師 菊南病院 栄養部 森田智子参与）  
8月11日：熱中症予防について（講師 サントリービバレッジサービス）

### 【施設外研修】

7月28日：繰り返す誤嚥→経鼻栄養→胃ろうは治療でしょうか？  
（熊本地域医療センター） 2名参加



# 学会報告

テーマ：日本看護学会—看護管理—  
 主催：日本看護協会  
 開催日時：H26.9.25(木)・27(金)  
 開催場所：フェニックス・シーガイア・リゾート  
 発表：菊南病院三病棟 主任 久保博子  
 (井口和子 天神フサ子 大森千賀子)

## 【はじめに】

これまで様々な転倒・転落への取り組みがなされているが、転倒の多い時間帯を区切った業務見直しはされていない。今回、多発する時間帯に発生したインシデントを根本原因分析(Root Cause Analysis 以下RCAと略す)を用い、導き出された要因をもとに業務改善を行った。

## 【研究目的】

業務改善後の転倒・転落インシデントに関する変化を明らかにする。

## 【研究方法】

1. 調査期間：平成23年4月～平成25年3月
2. 調査方法：①転倒・転落インシデント報告書数実態調査：業務改善前後のインシデント発生状況を調査②転倒・転落に関する意識調査：業務改善前後に看護師17名、ワーカー3名にアンケート実施。

## 【RCA 分析結果と夜勤業務改善内容】

1. RCA 分析による根本原因：①夜勤業務中の業務量が多い②何も考えずマニュアル通りにしている③夜勤者と遅出業務の詳細な取り決めがない
2. 業務改善内容：①転倒の多い時間帯への人員配置(遅出業務時刻の延長と調整)②夜勤帯の業務整理(夜勤で引き継ぐ業務を日勤で終了させる、計画的なオムツ交換やトイレ誘導、リハビリの終了時間や配膳時の配茶について他部署へ協力依頼)③細やかな業務の取り決めと徹底(夜勤者と遅出の役割、認知症患者に対応する見守りの設定)

## 【倫理的配慮】

所属する病院倫理委員会の承諾を得た。対象者に、研究目的と研究方法、個人が特定されないよう配慮すること、調査

協力は任意であることを説明し、アンケートの提出をもって同意を得たものとした。

## 【結果】

業務改善前のインシデント件数は56件(17時～19時は12件)、移動の目的としてトイレ関連が多かった。病室での転倒43件、ステーション前7件であった。業務改善後のインシデント件数は32件(17時～19時は2件)、病室での転倒は21件、ステーション前3件であった。意識調査は回収率・回答率ともに100%であった。「転倒・転落を防止する為に業務改善を行うことが出来る」の項目は、改善前は11名(55%)、改善後は18名(90%)が出来ると回答した。「重大な転倒事例が起こった時に、何がうまくいかなかったか議論に時間をかける事が出来る」との問いには、改善前は11名(55%)、改善後は18名(90%)が出来ると回答し、「今まで三人三様に動いていた為に効率が悪いばかりでなく、見守りができていない状況であったが、業務を細分化した事によりすべき事を丁寧に行えるようになった」等の意見があった。

## 【考察】

インシデントに対して、ヒューマンエラーに偏っていた見方をRCA 分析により転倒に至るプロセスからシステムの不備へと視点を変える事が出来た。転倒の多い時間帯の業務を時間軸で考え、リスクの高い時間帯に何を優先すべきか理解出来るようになった事が、現場に沿った業務マニュアルの変更に繋がったといえる。また、RCA分析を病棟スタッフ間で行ったことでリスクの過程を共有でき、議論に時間をかけることにより情報の共有が重要であることに気付けた事が、転倒の防止に関するスタッフの視野を広げ、意識の向上に繋がったと思われる。これらの積み重ねにより、転倒・転落インシデント数の減少をもたらしたと考える。特に、認知症患者に対する見守りを業務としてマニュアルへ導入したことにより、患者様に安全な環境を提供でき、かつ効率的な業務が行えるようになり、看護の質が向上したことが、転倒インシデントの減少に繋がったと思われる。

## 【結論】

①転倒の多い時間帯への人員配置、夜勤帯の業務の整理、細やかな業務の取り決めにより転倒を減らす事が出来た。②議論の時間を持つ事により、情報の共有ができ転倒予防への意識が向上した。

## 【引用文献】

RCA(根本原因分析)法実践マニュアル 2012 石川雅彦著

8月

## グループホームきくなん便り

9月



そうめん流しは笑いでいっぱいでした。“初めて”の方も多く思い出になったようです。

ジャガイモ・ネギ植えました!!



ご家族の方が読み聞かせに来てくれました。

前半・後半、2グループに分けお隣のホテルで外食に出かけました。ご家族の参加もあり、美味しい食事をいただきました。



ユウバルホテル

# ◆外来担当医当番表◆

平成26年8月1日～

菊南病院

		月	火	水	木	金	土	
午前	1診	室原	赤星	室原	梅田	赤星	室原	
	診療 (9時～12時)	2診	古庄	加古	古庄	加古	吉村	
	受付 (9時～11時)	3診	整形外科 前田(予約)	整形外科 前田(予約)	吉村	呼吸器内科 松岡(予約)	整形外科 前田(予約)	梅田 (第2・第4)
午後	1診	梅田 (予約)	梅田 (予約)	室原 (予約)	室原 (予約)	梅田 (予約)		
	診療・受付 (13時～17時)	2診	中島	中島	古庄	吉村	禁煙外来 古庄(予約)	休診
	3診		—	神経内科 14時～17時 守屋(隔週)	—	禁煙外来 赤星(予約)		

●休診日：日曜、祝日、年末年始等 ※但し、急患の場合はこの限りではありません。

## 一医師情報一

松岡	呼吸器内科 ※要予約
守屋	神経内科 (事前にご確認下さい)

★都合により受付終了時間が早まる場合がございます。ご了承くださいませ★

## 室原内科・小児科

平成26年1月現在

		月	火	水	木	金	土
午前	室原亥十二	室原亥十二 ★動脈硬化検査 (第1・第3火曜日)	室原亥十二 高血圧外来 (梅田Dr)	休診	室原亥十二 腹部エコー検査 (第2・第4)	室原亥十二 糖尿病外来 (後藤Dr)	
	室原亥十二	室原亥十二 ★動脈硬化検査 (第1・第3火曜日)	室原亥十二 喘息外来 (藤井Dr)	休診	室原亥十二 心臓外来 (室原良治Dr)	室原亥十二 心臓外来 (室原良治Dr)	

☆午前8:30～12:00 午後1:30～3:00

●診察日・時間：月～土曜日(木曜日を除く) 午前8:30～午後6:00

●休診日・時間：木曜日・日曜日・祝祭日・年末年始等

《その他の教室》毎月第2火曜日 午後2:00より「生きがい塾」

## 編集後記

編集長 室原 鈴子

世界では紛争が後を絶たない。国内では、戦後最悪の多くの死者が出た御嶽山の火山災害。暗いニュースの中、ノーベル賞日本3人の青色LED開発での「物理学賞」の快挙は、国民こそぞっての朗報だった。

ふれあい78号の巻頭記事、菊南病院副院長「赤星隆一郎先生のドクターズファイル」に脱帽。心にしみる言葉の宝庫の文面は、皆さん必見!!です。殊に「禁煙、食事、そして運動はどんなに嫌われうるかがられても……」のくだりはインパクトがあり、心に残りました。私も最近ランニングの必要性を痛感。少しずつ距離をのばし、早朝歩きをはじめることになりました。あの爽快感は、病みつきになりそうです。

毎度好評の古庄先生のサイクリング紀行も佳境に入り、錦秋の一番良い季節、紅葉狩りの散策をと思っていた矢先、未知との遭遇!?のガイド。かの有名な私の憧れの歌人「種田山頭火」や「小野小町」の産湯の話等、興味津々でした。

ふれあいア・レ・コレも病院発展の心からのご尽力、パワーに感謝でいっぱい。ワーキングウーマン松田知恵美看護師のQ&Aの記事は、実体験だけに読む人の心に響きました。患者様に喜んで頂きたい一心の栄養部の変わらぬ温かい愛情の行事献立、お楽しみ下さい。

室原内科・小児科の平成21年から続く「生きがい塾」も136回、よくよく頑張った歴史には頭が下がります。「グループホームきくなん」も、全力投球で張り切っています。お年寄りの明るく楽しそうな顔が輝いています。「うりぼう」も、盛大な夏祭り、敬老会等ボランティアの方々のご協力、イベント満載の記事が来ました。八十路を越え、年を重ねただけ、精神を豊かに「を心かけ、チャレンジ精神を失うことなく、お互い明るく・たくましく・しなやかに、人生を乗り切って参りましょう。

それではごきげんよう。